
死神奇談

然原 秋砥

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死神奇談

【Nコード】

N2127J

【作者名】

然原 秋砥

【あらすじ】

ある日、新学年になり新たな出会いを期待する佐藤 梨花の元に、自らを死神と名乗る男が現れたっ！？

序章

ガタガタと、目の前にあるものをはじき飛ばす勢いで少女は走る。その表情は恐怖で彩られ、月光に照らされ青白く光る。

暗く、狭い路地を必死の形相で走り抜ける姿はまさに異質であった。

一つ角を曲がった時、行くてに壁が現れそれ以上進めなくなる。元々青白かった顔が、更に血の気を失い、真っ白になる。

ふと、何処からともなく風が吹き、ゴミなどに被っていたホコリや枯れ葉が舞う。その風の音に怯えるかのように、少女はビクリと肩を震わせ、恐る恐る後ろを伺う。

すると、目の前に黒いフードを被ったモノがいた。チラリと覗かせたその顔は、異常なほど青白い光を放った骸骨であった。

「——ッ！」

深夜、街の片隅で悲鳴が響く。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2127j/>

死神奇談

2010年10月22日00時36分発行